

市長公室 平成28年度 局運営方針（案）

1. 主な現状と課題

市長・副市長のトップマネジメントを、スケジュール管理の効率化や意思決定の最適化により補佐します。

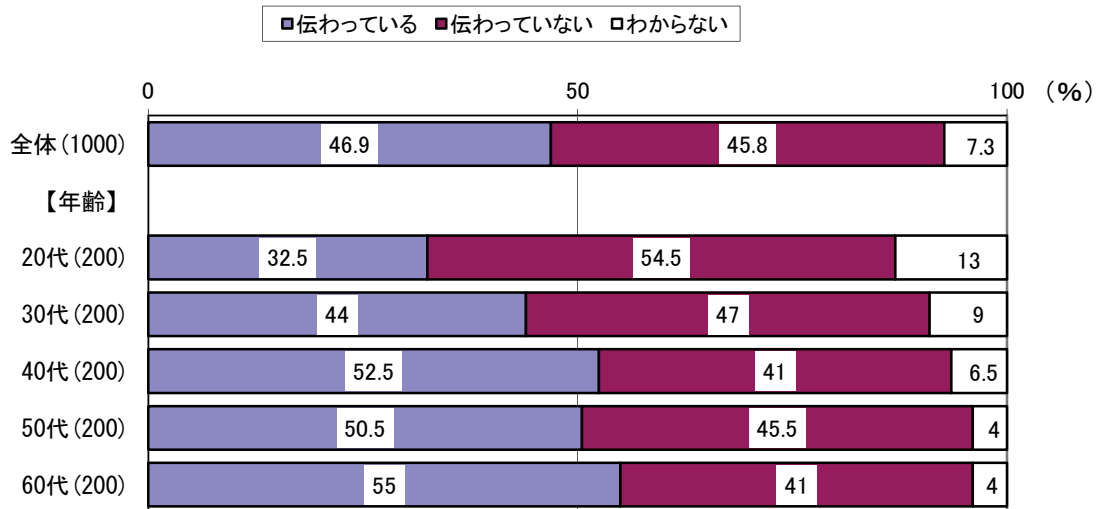
市民意識が成熟し、市民の行政ニーズが複雑・多様化する中、情報発信・受信による市民との良好な関係づくりが、重要性を増しています。

施策に対する市民の関心を高め、市民の理解・共感を得ることは、施策展開の円滑化と効率化のために不可欠となっています。

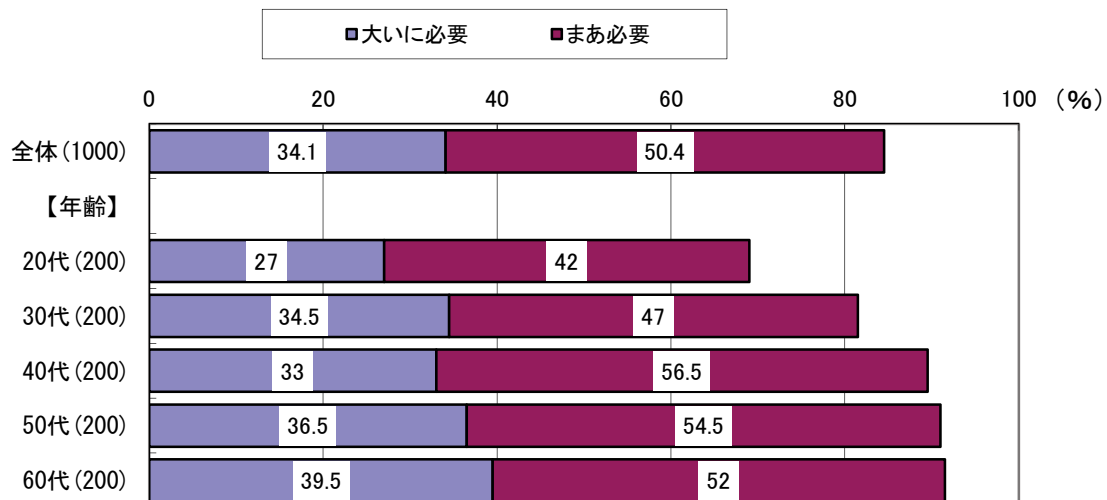
また、市に寄せられる市民の声を一元管理して、市政への反映を図るとともに、市民の声の反映結果を分かりやすく市民に伝えることが求められています。

(1) 市民は、より多くの情報提供を期待し、効果的な媒体を求めています。

[市役所からの情報伝達度] 全体1000s



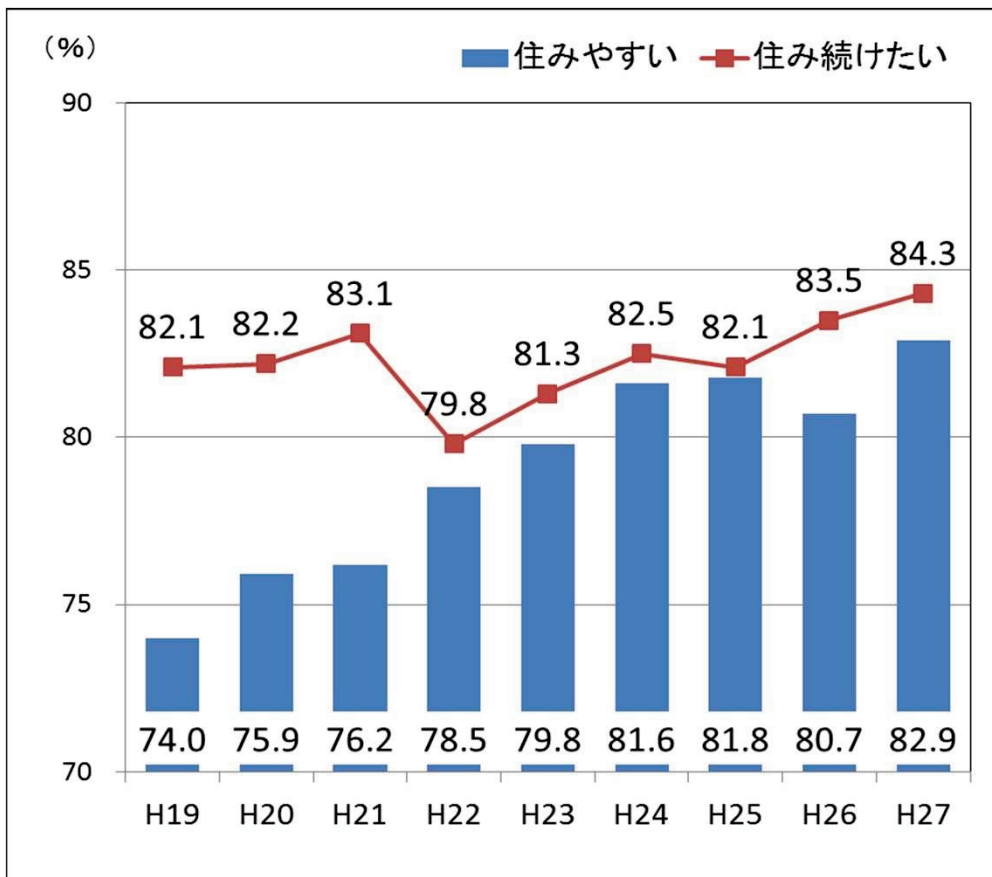
[伝わりやすい広報の必要性] 全体1000s



* いずれも平成27年2月実施「インターネット市民意識調査」(さいたま市民1000s)。

- (2) 「市民から見たさいたま市の住みやすさ」と「市民の定住意向」は、近年増加傾向にあり、特に平成27年度は、住みやすい人82.9%、住み続けたい人84.3%で、ともに平成19年度の市民意識調査開始以来、最多となっています。
 今後、さらに住みやすさと定住意向を高めていくために、市民がよりしあわせを実感できるまちづくりを推進していくことが必要です。

[住みやすさと定住意向の推移]



* 平成19～27年実施「さいたま市民意識調査」(さいたま市民が対象)。

- (3) わたしの提案をはじめ様々な機会を通じ、市民の声が寄せられています。

[平成26年度に寄せられた市民の声]

事業名	件数 (件)
わたしの提案	1,693
陳情・要望等	280
コールセンター	232,561
タウンミーティング	331
合計	234,865

2. 基本方針・区分別主要事業

- ・市長・副市長のトップマネジメントを補佐します。
- ・情報発信を効率的・効果的に行い、市の施策や事業に対する市民の関心を高め、市民の理解・共感を得るとともに、さいたま市の魅力を発信し、市内外にアピールしていきます。
- ・市民の声を一元管理して、市政への反映を図るとともに、反映結果を分かりやすく市民に伝えていきます。

(1) 市長・副市長の日程調整等秘書業務を行います。

*（ ）内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	28年度	27年度	説明
1		秘書事務事業 〔秘書課〕	11,832 (11,832)	11,843 (11,843)	市長・副市長のトップマネジメントをサポートし、随行業務・日程管理等を効率的に実施
2		表彰事業 〔秘書課〕	3,795 (3,795)	3,795 (3,795)	市政の振興発展に尽力いただき、顕著な功績のあった方々を表彰
3		市長交際費 〔秘書課〕	3,000 (3,000)	3,000 (3,000)	市長が市を代表して行う外部との交際に要する経費

(2) 多様な情報発信媒体を活用します。

*（ ）内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	28年度	27年度	説明
4	行革	市報さいたまの発行 〔広報課〕	181,629 (167,051)	179,478 (161,520)	市の施策や行事等の市政情報を掲載する広報紙を編集し、毎月1日に発行して、全世帯に配布
5		公式ホームページの運用 〔広報課〕	11,520 (6,120)	12,757 (5,565)	ホームページで市政情報や市の魅力等を発信
6		テレビ広報番組の制作 〔広報課〕	32,798 (32,798)	33,330 (33,330)	テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」等を制作し、テレビ埼玉で放送するとともに、過去放送分をインターネットで映像配信
7		情報発信の活性化 〔広報課〕	1,275 (1,275)	1,275 (1,275)	情報発信アドバイザー（非常勤職員）を設置し、広報に関する助言・指導等を各所管に行うことで情報発信を活性化
8		定例記者会見の情報発信 〔広報課〕	5,768 (5,768)	5,955 (5,955)	市長の定例記者会見をインターネットで動画配信

〔区分〕 新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画後期基本計画実施計画事業
 倍増…しあわせ倍増プラン2013事業 成長…成長戦略事業 創生…まち・ひと・しごと創生総合戦略事業
 行革…行財政改革推進プラン2013事業

(3) 市民の声の市政への反映を進めます。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	28年度	27年度	説明
9	行革	討議型タウンミーティングの開催 〔広聴課〕	732 (732)	710 (710)	市民と市長が直接対話する機会として、討議形式によるタウンミーティングを開催 参加者は公募に加え、無作為抽出の手法により募集
10	行革	インターネット市民意識調査 〔広聴課〕	2,216 (2,216)	2,869 (2,869)	タイムリーな事柄について市民の満足度や要望を調査し施策推進の指標として活用
11	行革	市民の声データベースの運用 〔広聴課〕	22,251 (22,251)	22,714 (22,714)	市民の声を集約・共有し、市政への反映を図るためにデータベースを運用
12		コールセンター運営業務 〔広聴課〕	84,487 (84,487)	78,427 (78,427)	本庁及び各区の代表電話とコールセンターを順次統合し、電話問合せ窓口の一本化を図る コールセンター運営業務

〔区分〕 新規 … 新規事業 拡大 … 拡大事業 総振 … 総合振興計画後期基本計画実施計画事業
 倍増 … しあわせ倍増プラン2013事業 成長 … 成長戦略事業 創生 … まち・ひと・しごと創生総合戦略事業
 行革 … 行財政改革推進プラン2013事業

3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト 削減額
広報課	ホームページメイン ビジュアル制作業務 委託の廃止	写真データ及び技術的なノウハウの蓄積により、委託せず、職員自ら実施することが可能となったことから、事業は継続するが、委託料を廃止する。	△ 428

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 秘書事務事業		予算額	18,627
局/部/課	市長公室/秘書課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/1目 一般管理費	予算書P. 77	- 一般財源 18,627
<事業の目的・内容> 市長・副市長の日程の調整を中心とした秘書業務を行うとともに、市長が市を代表して行う活動の支援を行います。また、市政の振興発展に尽力いただき、顕著な功績のあった方々に対して表彰を行います。		前年度予算額 18,638 増減 △ 11	
<主な事業>			
1	秘書事務事業	11,832	
市長・副市長のトップマネジメントをサポートし、随行業務及び日程管理等を効率的に行うとともに、意思表示に必要な情報を適切に管理します。			
2	表彰事業	3,795	
市政の振興発展に尽力いただき、顕著な功績のあった方々に対して表彰を行います。			
3	市長交際費	3,000	
市政の円滑な運営を図るため、市長が市を代表して行う外部との交際に要する経費として支出します。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 広報事業		予算額	256,592
局/部/課	市長公室/広報課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	予算書P. 81	15款 国庫支出金 3,279
<事業の目的・内容> 広報紙「市報さいたま」、公式ホームページ、テレビ広報番組をはじめとした様々な広報媒体や手法を活用し、市民が必要とする情報を迅速かつ正確に発信します。また、「さいたま市PRマスタープラン」に基づき、戦略的な広報活動を行い、施策や事業に対する市民の関心を高め、市民の理解・共感を得ます。		16款 県支出金 1,639	
		17款 財産収入 786	
		21款 諸収入 20,066	
		- 一般財源 230,822	
		前年度予算額 255,714	
		増減 878	
<主な事業>			
1	市報さいたまの発行	181,629	4 情報発信の活性化 1,275
市の施策や行事等の市政情報を掲載する広報紙を編集し、毎月1日に発行して、全世帯に配布します。		情報発信アドバイザー(非常勤職員)を設置し、広報に関する助言・指導等を各所管に行うことで情報発信を活性化します。	
2	公式ホームページの運用	11,520	5 定例記者会見の情報発信 5,768
ホームページで市政情報や市の魅力等を発信します。		市長の記者会見について広く市民などの視聴に供するため、インターネットによるライブ中継・録画配信等を行います。	
3	テレビ広報番組の制作	32,798	6 広報事業その他 23,602
テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」等を制作し、テレビ埼玉で放送するとともに、過去放送分をインターネットで映像配信します。		FMラジオ、グラフ誌版広報誌、SNS、メールマガジン、出前講座等の各種媒体を活用し、市政情報や市の魅力等を発信します。	

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 NHK大型公開番組等開催事業		予算額	1,420
局/部/課	市長公室/広報課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	予算書P. 81	- 一般財源 1,420
<事業の目的・内容> 地域の文化振興と市民福祉の向上を図るとともに、市内外に向けて本市をアピールするため、NHKさいたま放送局及び埼玉県産業文化センターとの共催により、学校音楽コンクールを開催します。		前年度予算額	1,420
		増減	0
<主な事業> 1 NHK全国学校音楽コンクール 1,420 合唱を通して児童・生徒の健全な成長と豊かな感性を育てるため、全国学校音楽コンクール埼玉県コンクール及び関東甲信越ブロックコンクールを大宮ソニックシティ大ホールで開催します。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 広聴事業		予算額	29,532
局/部/課	市長公室/広聴課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	予算書P. 81	- 一般財源 29,532
<事業の目的・内容> 広く市民の声を聴取し、市民参加の市政を推進するために、市長への提案制度、タウンミーティング、市民意識調査、パブリック・コメントなどの広聴事業を行います。また、寄せられた市民の声を集約し、市政への反映を図ります。		前年度予算額	30,574
		増減	△ 1,042
<主な事業> 1 市民の声データベースの運用 22,251 市民の声データベースに市民の声を集約・共有し、市政への反映を図ります。			
4 市民意識調査の実施 5,913 市政に関する市民意識を把握し、施策の立案・実施等に活用するため、郵送及びインターネットによるアンケート調査を行います。			
2 討議型タウンミーティングの開催 732 市民と市長が直接対話する機会として、討議形式によるタウンミーティングを開催します。参加者は公募に加え、無作為抽出の手法により募集する「市民の声モニター制度」を活用します。		5 パブリック・コメント手続の支援 103 パブリック・コメント制度に基づく意見を提出しやすくするための専用封筒を作成・配置します。また、制度に対する職員の理解を深めるための研修を実施します。	
3 市長への提案制度の実施 407 公共施設等に配置した専用封筒、FAX及び電子メールにより市民から市政に対する意見・要望等を聴取し、市政への市民意見の反映に努めます。		6 子どもからの意見募集 126 市内の中学校に配置した専用封筒により、子どもたちから「テーマ」に沿った意見を募集し、市政への反映に努めます。	

事務事業名 コールセンター運営事業		予算額	84,487
局/部/課	市長公室/広聴課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	予算書P. 81	- 一般財源 84,487
<事業の目的・内容> 本庁及び区代表電話を含めた市民からの問合せ等に対して1つの窓口で迅速かつ責任ある対応を行うとともに、市政への要望等を的確に把握し、市民サービスの向上を図ることを目的としたコールセンターを運営します。		前年度予算額	78,427
		増減	6,060
<主な事業> 1 コールセンターの運営 84,279 本庁及び区代表電話を含めた市民からの電話、FAX及び電子メールによる問合せ等に対する回答や対応記録の蓄積、イベント等の予約受付業務について、専門のオペレーターが対応するコールセンターを運営します。		[参考] 【開設時間等】 年中無休 電話 8時～21時受付・対応 FAX・電子メール 24時間受付(対応は8時～21時)	
2 コールセンターの周知 208 市民周知のためのチラシ等を作成・配置します。			